

第10区の生い立ち（経緯）について

設立時期

昭和51年（1976）4月・・・2年後設立50周年

明治22年基山村発足 第3区（10戸～20戸単位の組合結成）は旧小倉村⇒

⇒昭和14年（1939）東8区・西8区が追加 ⇒昭和38年（1963）東3区追加

⇒昭和38年（1963）東3区追加「町営住宅（寿町・神の浦）」開発により⇒

⇒昭和51年（1976）4月東3区⇒第10区へ「きやま台」開発による

⇒昭和60年（1985）5月第12区「ニュータウン」の開発により誕生

⇒昭和60年（1985）5月第13区を分区「本桜団地」の開発により

設立の背景

昭和50年代初頭に城の上地区に（旭化成）工場跡地に

分譲タイプ戸建て住宅（約190戸）が計画され造成工事が着手

同時期に高島団地開発に伴い第11区も誕生

昭和33年頃 現在の新都 開発初期

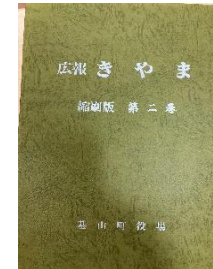
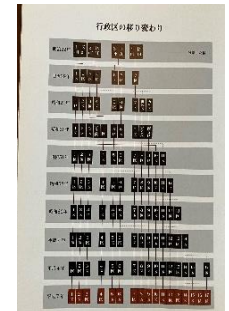
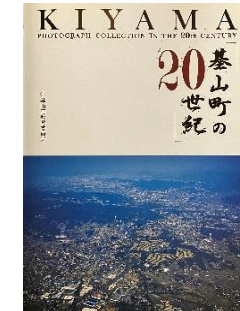


住宅建設 | 昭和33年 | 神ノ浦
町営神ノ浦住宅の建設がこの年からはじまった。

昭和51年頃 右下きやま台開発初期



基山駅周辺 | 昭和51年頃 | 基山駅周辺
駅の西側の丘陵（招魂場）と3号線を挟んだ東側（きやま台）を開発している。



対象地域

組合名	令和6年(2024)3月末		平成22年(2010)3月末	
	世帯主数	人口	世帯主数	人口
・新町	19	51	20	57
・桜町1組	23	69	24	50
・桜町2組	14	33	15	44
・神の浦1組	9	20	8	19
・神の浦2組	14	29	17	42
・神の浦3組	11	21	10	25
・神の浦4組	13	28	11	27
・神の浦5組	18	31	15	36
きやま台1丁目	19	46	20	55
きやま台2丁目	22	51	24	64
きやま台3丁目	23	51	23	60
きやま台4丁目	18	38	18	48
きやま台5丁目	21	55	18	55
きやま台6丁目	20	50	18	51
きやま台7丁目	16	39	16	41
きやま台8丁目	14	37	16	41
きやま台9丁目	21	50	19	52
きやま台10丁目	24	63	12	33
きやま台11丁目	17	39	13	40
ルミエール基山	27	40	16	35
高尾マンション	18	18	17	17
合計	381	859	350	892

14年前との比較コメント

一時期の人口減少から回復
 新しい戸建てアパート 人口増
 今後も新しい仲間が増加？
 一時期の人口減少から回復
 著しい人口減少

今後も新しい仲間が増加？

一時期の人口減少から回復

新しい戸建て住宅で大幅な人口増

外国人就業者による人口増

一時期の人口減少に歯止め・・・新しい住人の増加傾向